

(参考)

名古屋圏広域防災ネットワーク整備・連携方策検討委員会について

名古屋圏における広域防災ネットワークの整備・連携方策について、学識経験者、関係省庁、関係区市等からなる委員会（委員長：松尾 稔 氏（名古屋大学総長））を組織し検討を実施する。平成 15 年度末を目途に結論を得る予定。

1 . 調査の目的

稠密な市街地が連坦している名古屋圏において、広域あるいは甚大な震災が発生した場合、国・地方公共団体が連携・協力して広域的な災害対策活動（広域的オペレーション）を展開する必要がある。

このため、名古屋都市圏における広域防災ネットワークの整備・連携に向けた検討を行う。

2 . 検討内容

- (1) 名古屋圏における大規模被災時の広域的オペレーションの展開（国・地方公共団体、ライフライン企業等指定公共機関、災害ボランティア等による災害対策活動の広域的連携・総合調整等）のあり方に関する検討
- (2) 名古屋圏広域防災ネットワークの整備・連携のための広域防災拠点等の適正配置、中核的な広域防災拠点の必要性、交通基盤ネットワーク整備のあり方に関する検討
- (3) 具体的な被害想定を基としたケーススタディの実施
- (4) 名古屋圏広域防災ネットワーク整備・連携基本構想の策定